

# 高齢者施設・病院での環境づくり・人づくり ～倫理観の育成について考える



## 人員不足の中、倫理観の育成をどのように行なっていくか

人員不足に悩んでいる現場の現状があります。そのような中でも身体拘束ゼロ・高齢者虐待防止を推進するために、倫理観の育成は大切なテーマではないでしょうか。パーソン・センタード・ケアやユマニチュードなどを取り入れながらトータルケアに取り組んできたファシリテーターとともに倫理観の育成について考えます。

## 勉強会の内容

倫理観の育成をテーマに、下記の問いかけについて取り組み例をもとに議論し共有します。

- ◎人員不足にどう対応しますか？
- ◎倫理観を育成するための組織の取り組みはありますか？
- ◎不適切ケアにどのように対応しますか？

### コーディネーター・ファシリテーター

下山 久之（同朋大学社会福祉学部 教授）

田中 とも江（社会福祉法人こうほうえんケアホーム西大井こうほうえん 施設長）

医療法人大誠会内田病院スタッフ（群馬県 沼田市）

佐久間 尚実（社会福祉法人沼風会 サービス管理、介護支援専門員）



**2018年11月30日（金） 13:30～16:30**

**浦和コミュニティセンター 第14集会室**

埼玉県さいたま市浦和区東高砂町 11-1 浦和パルコ 10階（京浜東北線 浦和駅下車徒歩3分）

**参加費 2,000円**（会員 1,500円） 定員 50名

※事前申し込みが必要となります。申し込みは詳細は裏面へ。

参加申込書 送り先 FAX 050-3737-4902 (NPO 法人シルバー総合研究所)

お名前		住所 (自宅・職場) どちらかに○	
ご所属		電話	
通信欄			

事前アンケート

・今回の勉強会で取り上げてほしい事がありましたら、下記の問いかけやキーワードを参考に自由にお書きください。

◎問いかけ

- ・人員不足にどう対応しますか？
- ・倫理観を育成するための組織的な取り組みはありますか？
- ・不適切ケアにどのように対応しますか？

◎キーワード

身体拘束ゼロ、虐待防止、人員不足、人材育成、職場の環境づくり、認知症ケア、パーソン・センタード・ケア、ユマニチュード、不適切ケア、理念の浸透、施設内研修、チームケア、リスクマネジメント、自立支援、トータルケア、センサーマットは身体拘束か